

各 位

2024年1月26日
株式会社リットーミュージック

アコースティック・ギター・マガジン Vol.99 3月号
追悼特集『さらば谷村新司 ALICEよ永遠に』



インプレスグループで音楽関連のメディア事業を手掛ける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松本大輔）は、『アコースティック・ギター・マガジン Vol.99 2024年3月号』を、2024年1月26日に発売します。

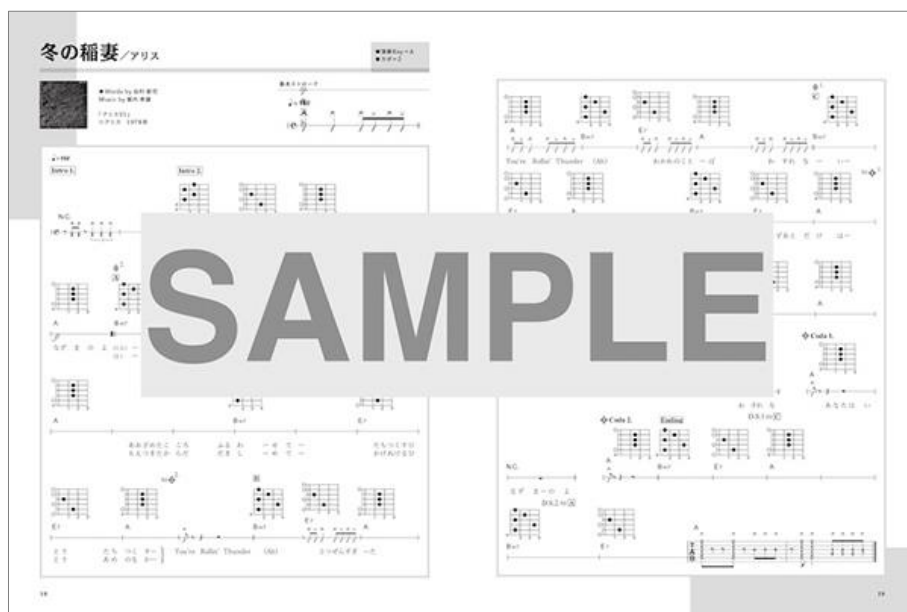
巻頭特集は、2023年10月8日にこの世を去ったチンペイさんと谷村新司の追悼企画。アリスでは「チャンピオン」や「冬の稲妻」などで大ヒットを飛ばし、ソロ・ミュージシャンとしても「昴-すばる-」や「いい日旅立ち」などの国民的銘曲を生み出したことは誰もが知るところですが、1970年代中頃から後半に青春時代を過ごしたギタリストたちにとっては、“モーリス持てばスーパースターも夢じゃない”というキャッチコピーが使用されたアリス&モーリス（モリダイラ楽器）の広告が深く印象に残っていることでしょう。当時、実際にアリスをきっかけにギターを始め、ガッツのあるストロークを学んだというアマチュアは大勢おり、今やアコギ界のスーパースターとして人気を博す押尾コータ

ローもそのひとりだったと振り返っています。本特集では、谷村新司本人がギターについて語った貴重なアーカイブ・インタビューのほか、彼が愛したギブソン・ダヴやヒゲギターと呼ばれたモーリス WJ などの愛器をじっくりと紹介し、アコギ的視点でその功績に迫ります。

第2特集は、近年何かと話題の SDGs とギター作りの関係について。SDGs とは持続可能な開発目標のことを指しますが、おもに木材で製作されるギター業界でも、この取り組みに賛同するブランドがさまざまなアクションを起こしています。マーティン社のハイプレッシャー・ラミネイト（端材を使った集積材）、テイラー社のアーバンウッド（倒木材や区画整理で伐採された材）などがその代表例で、地産地消を目指して国産材の可能性に挑戦する国内メーカー、さまざまな企業とコラボレートする島村楽器主宰の Evergreen Project（売上の一部を植樹費用として寄付）などが存在しています。そんな SDGs なギターをテーマに各ブランドの理念や試みを紹介するとともに、ギターとしてのポテンシャルを追求するべく、ジャズ・ギタリストの小沼ようすけによる試奏を通し、その実力を検証していきます。

日本のギター製作家の草分け的存在である UCHIDA GUITAR の50年を振り返る特集も見どころが満載。内田光広氏は、1980年代後半から北アイルランドのローデン・ギタースの工場長を務め、帰国後の1991年からハンドクラフトによるオリジナル・ギター製作を長野県伊那市で行なってきました。パイオニアとして32年間にわたり活動し、これまでに製作したワンオフ・ギターは約200本に及びます。UCHIDA GUITAR の作品の数々を紹介するとともに、内田光広氏のギター作りに対する基本的な姿勢、デザイン、機能性、アイデアなどがどのようにして生まれてくるのかと、本人のインタビューなどをおして探究しました。

アコギ1本で歌えるように歌詞とコード譜をダイアグラム付きで掲載する好評の付録歌本『AGM SONG BOOK Vol.13』は、もちろんアリス&谷村新司の歴史的な名曲群を収録。「冬の稲妻」、「遠くで汽笛を聞きながら」、「昴-すばる-」など、シンプルなコード進行ながら耳に残りやすいキャッチーな楽曲の数々は、多くのシンガーソングライターにとって最適な参考書となることでしょう。ぜひチンペイさんに想いを馳せながらご自身で弾き語ってみてください。



■ 書誌情報

書名：アコースティック・ギター・マガジン Vol.99 2024年3月号

定価：2,200円（本体2,000円+税10%）

発売：2024年1月26日

発行：リットーミュージック

商品情報ページ <https://www.rittor-music.co.jp/magazine/detail/3123112010/>

CONTENTS

◆表紙／Special Program 1

さらば谷村新司 ALICE よ永遠に

- ・ Biography 谷村新司とアリスの軌跡
- ・ 谷村新司が語るギブソン・ダヴ愛
- ・ 谷村新司が愛したアコースティック・ギター
- ・ AD Archives アリス meets モーリス 1977-1981
- ・ アリス再録インタビュー2001
- ・ アリス再録インタビュー2013

盟友ギタリストが語るチンペイさんの素顔 坂崎幸之助 (THE ALFEE)、押尾コータロ
ー、住出勝則

- ・ Disc Guide アコギ的視点で見るアリスの作品
- ・ Playing Analysis アコギ・デュオで楽しむアリスのギター・プレイ

◆Special Program 2

木材×SDGs～地球に優しいサステナブル・ウッドの可能性

- ・ Introduction 木材とアコースティック・ギターの未来を考えよう
- ・ Martin Guitar 190年の歴史を持つマーティンの覚悟と挑戦
- ・ Taylor Guitars エボニー、ハワイアン・コア、アーバンアッシュ～未来を見据えたテイラーの取り組み
- ・ 島村楽器 企業として取り組む大手楽器店のSDGs
- ・ Lâg Guitars フランス発の地球に優しいグリーン・ギター
- ・ Bromo Guitars 自然豊かなインドネシアで作られるハイ・コストパフォーマンス・ギター
- ・ Headway 桜ギターの挑戦と試行錯誤の日々
- ・ MORRIS 地産地消を目指すモーリスのJapan Forest Series
- ・ Natasha Guitars/中国産の竹とHPLにこだわる新進気鋭のサステナブル・ギター
- ・ 小沼ようすけが弾く注目のSDGsギター
- ・ にっぽんのギター作家から見た木材事情のリアル～Water Road Guitars 増田明夫
- ・ SDGs 木材図鑑～注目のオルタナティブ・ウッド 2024～

◆The Instruments

All About UCHIDA GUITAR ～内田光広 50周年 SP

◆INTERVIEW

- ・ ミッチ・グリーンヒル
- ・ 齊藤ジョニー

◆SEMINAR 見直してみよう！アコースティック・ギター基本の"キ"

- ・ Dr.キャピタル アコギで学ぶ音楽理論講座（第12回）
- ・ 沖仁 フラメンコ・ギターじゃなきゃダメなんですか？（第13回）
- ・ 井草聖二 フィンガーピッキング・アカデミー（第13回）
- ・ 齊藤ジョニー 現代ブルグラスのフラットピッキング革命（第6回）

◆BEST SONGS FOR ACOUSTIC GUITAR

- ・ 「ブラック・マウンテン・ラグ」ドック・ワトソン
- ・ 「カヴァティーナ（映画『ディア・ハンター』テーマ曲）』ジョン・ウィリアムス

◆連載

- ・ 高田漣の Folk Days Memories 第12回：吉祥寺のエントロピー
- ・ にっぽんのギター工房 第83回：OGINO GUITARS
- ・ 麻田浩の"ロックじゃなくてブルグラスを聴こう 第5回：トニー・ライスと DGQ の衝撃
- ・ 松井祐貴式ハイテク・ソロ・ギター 第3回：レミオロメン「3月9日」
- ・ インフォメーション
- ・ バックナンバー
- ・ DIY キットでアコースティック・ギターを作ろう 第12回：ボルトオン・ジョイントへと仕様変更する！
- ・ ニュー・ギア・サウンド・チェック
- ・ 新連載 アコワドの部屋へようこそ presented by Last Guitars 第1回：矢後憲太

◆付録歌本 AGM SONG BOOK Vol.13（全13曲）

アリス&谷村新司 名曲集～アコギ持てばスーパースターも夢じゃない。

- ・ チャンピオン（アリス）
- ・ 今はもうだれも（アリス）
- ・ 帰らざる日々（アリス）
- ・ 涙の誓い（アリス）
- ・ 青春時代（アリス）
- ・ 遠くで汽笛を聞きながら（アリス）
- ・ 冬の稲妻（アリス）
- ・ 秋止符（アリス）
- ・ ジョニーの子守唄（アリス）
- ・ 狂った果実（アリス）
- ・ いい日旅立ち（山口百恵）
- ・ 三都物語（谷村新司）
- ・ 昴-すばる-（谷村新司）

【株式会社リットーミュージック】 <https://www.rittor-music.co.jp/>

『ギター・マガジン』『サウンド&レコーディング・マガジン』等の楽器演奏や音楽制作を行うプレイヤー&クリエイター向け専門雑誌、楽器教則本等の出版に加え、電子出版、映像・音源の配信等、音楽関連のメディア&コンテンツ事業を展開しています。新しく誕生した多目的スペース「御茶ノ水 RITTOR BASE」の運営のほか、国内最大級の楽器マーケットプレイス『デジマート』やエンタメ情報サイト『耳マン』、T シャツのオンデマンド販売サイト『T-OD』等の Web サービスも人気です。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック 広報担当

E-mail: pr@rittor-music.co.jp